



アーケードの下のだいいころ

- 商店街にキッチンがあったら -



商店街は、大手スーパーの進出などによっシャッター化が進み、年々数が減ってきています。そこで、キッチンとダイニングを商店街のストック部分に組み込むことで、地域に開けた空間を作ります。

キッチンで使われる物を取り扱う商店のすぐ隣にこれができることで、人々のアクティビティは商店街の路地空間にまで広がり、キッチンは街や人々を結びつきます。

街の賑わいから一歩足を踏み入るとそこに隠れた空間が広がります。

そんな新しい風景をつくりだすような「だいいころ」を提案します。



住宅の要素の一つである台所とキッチンを商店街に組み込む



スーパーの隣、八百屋の向かい側、魚屋さんの隣など、キッチンで使われるものを扱う店舗の近くに並ぶ

※ 八百屋となりの角地

